

SDG S

Report 2020

2020.01-2020.12



藤久運輸倉庫株式会社

藤久運輸倉庫株式会社

SDG s レポート

藤久運輸倉庫とSDG s

私たちはCSRを「お客さまや社会から支持され、環境や社会と共存する企業として、企業が不祥事を起こさないようにすると共に、企業を取り巻く利害関係者に積極的に貢献していく社会的責任」と定義し、以下4つの責任を果たすべく活動を行ってきました。

法的責任

経済的責任

倫理的責任

社会貢献的責任

2015年に国連によりSDG s 宣言が採択され、藤久運輸倉庫ではSDG s の達成に貢献することが社会からの期待と捉え、CSRの取組みを拡大させるべく2020年10月に「SDG s 宣言」を行い、持続可能な社会の実現に貢献することといたしました。SDG s の各目標を経営課題目標に盛り込み、社員ひとりひとりがこの課題に取り組んで参ります。

目次

CSR基本方針	3
安全	4-6
環境	7-8
社会貢献活動	9-10
B C P 対策	11



CSR基本方針

私たちは、法令およびその精神を遵守し、オープンでフェアな企業活動を通じて、社会から信頼され、愛され、尊敬される企業を目指し、次のとおり全てのステークホルダー（お客様、地域社会、取引先、従業員など）を重視した事業活動をおこない、社会・地域の調和のとれた持続可能な発展に貢献します。

お客様

私たちは「お客様第一」という信念に基づき、お客様が安全・安心を得られるために、且つお客様のさまざまな期待に応えるために、お客様に真にご満足いただける優れたサービスの開発と提供に努めます。

私たちは道路交通法、道路運送法、貨物自動車運送事業法など関連法令およびその精神を遵守し、お客様に信頼される営業活動を推進します。

私たちは個人情報保護およびその精神を遵守し、お客様の個人情報保護の徹底に努めます。

地域社会

私たちは事業活動を通じて環境保全に努め、地球環境・地域社会との調和ある成長を目指します。

私たちは社会・経済の要請に応え、法令を守り「人間性尊重」の経営を実践します。

私たちは豊かな地域社会づくりを目指し、社会貢献活動を積極的に推進します。

私たちは交通安全対策へ積極的に取り組みます。

取引先

私たちは取引先を尊重し、長期的な視野に立ち、相互信頼に基づく共存共栄の実現に取り組みます。

私たちは独占禁止法、下請法をはじめとする関連法令およびその精神を遵守し、公平かつ自由な取引をおこないます。

従業員

私たちは労働関連法令の遵守はもとより、従業員が生き生きと働けるように、相互信頼・相互責任の精神に則り、お互いを思いやり、それぞれの考え方や立場を尊重します。

私たちは従業員が誠実に仕事に取り組み、チャレンジ精神を大切に、新しい価値の創造を目指すことができるよう個々の自己啓発・成長を支援します。

私たちは安全で健康的な職場づくりに努めます。

私たちは機密情報を厳重に取り扱うと共に、適時適確な情報開示に努めます。

安全



安全理念に則り、お客様、地域社会、従業員へ安全・安心を提供してまいります

ISO39001認証

藤久運輸株式会社 中部事業部 運輸部では2015年7月10日、道路交通安全マネジメントシステムの国際規格「ISO39001」の認証(登録証番号：JQA-RT0050、登録活動範囲：一般貨物の輸送サービス)を取得しました。

当社では、事故防止研修会の実施、ヒヤリハット情報収集・活用、交通事故予防システムの運用など、交通事故撲滅に向け日々取り組んでおります。



健康経営優良法人認証取得

健康経営優良法人認定制度とは優良な健康経営にとり組む企業を「見える化」し「社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業」として顕彰する制度です。

認証取得継続を目標とし、健康経営を全社員で推進するため、「健康経営優良社員表彰規定」を新設し、目標達成社員を表彰して健康経営の実践に努めています。

2020年健康経営優良社員表彰者人数 35人

安全教育

安全教育のため、全体研修会のほか定期的な啓蒙活動を行っています。

事故防止研修会 新型コロナウイルス感染防止の為中止
交通安全研修会 新型コロナウイルス感染防止の為中止
トラックセーフティラリーへの参加、立哨 毎月1回実施



「ホワイト物流」推進運動への参画

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言しています。

No.	分類番号	取組項目
1	A ①	物流の改善提案と協力
2	A ③	パレット等の活用
3	A ⑯	検品水準の適正化
4	B ①	運送契約の書面化の推進
5	C ②	働き方改革等に取組む物流事業者の積極的活用
6	D ①	荷役作業時の安全対策



※「ホワイト物流」推進運動ポータルサイト <https://white-logistics-movement.jp/>

健康起因事故未然防止

健康起因事故の未然防止のため、以下の取り組みを実施しています。

定期健康診断

睡眠時無呼吸症候群(SAS)健診

脳ドック健診

血圧測定

活動量計

ストレスチェック

ウォーキング大会参加(2020年は新型コロナウイルス感染防止の為行事中止)



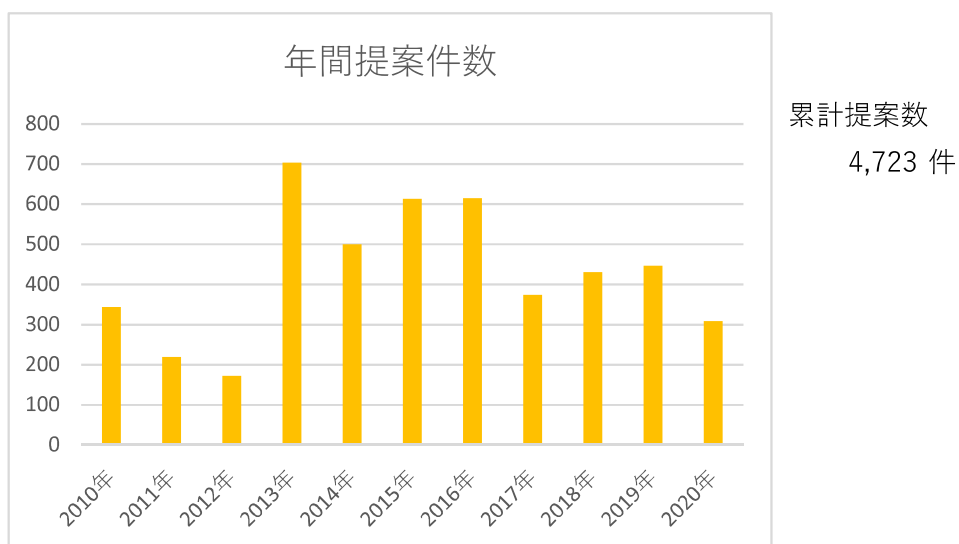
社員幸福度の追求

毎月10日を「感謝の日」として身近な方へ感謝を伝える日として制定し、感謝を伝えたい人へカードを贈るサンクスカード制度を実施しています。年間を通して一番投票した人、得票した人を年末の納会にて表彰しています。

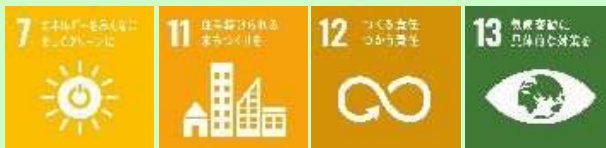
総投票枚数 1,503 枚

改善提案制度

業務を行う中で感じた改善点を提案する制度として、改善提案制度を設けています。小さな改善から原価低減効果のある提案、経営提言まで、年間を通して多くの提案が寄せられます。定期的に内容を精査し、効果の高い提案を行って頂いた方や多くの提案をして頂いた方は年末の納会にて表彰しています。



環境



地球環境保全の重要性を認識し、企業活動のあらゆる面で環境との調和を図り、豊かで住みやすい社会の構築に取り組んでまいります

ISO14001認証

環境目的に対する目標と結果

①省エネルギーの推進 電気使用量の削減

目標： 32,033 kWh/年

結果： **29,960 kWh/年** 達成率： **107%**

②天然資源の有効活用 コピー用紙使用量の削減

目標： 25,854 枚/年

結果： **20,439 枚/年** 達成率： **126%**

③廃棄物の削減 焼却・埋立廃棄物の削減

目標： 128.11 kg/年

結果： **122.96 kg/年** 達成率： **104%**

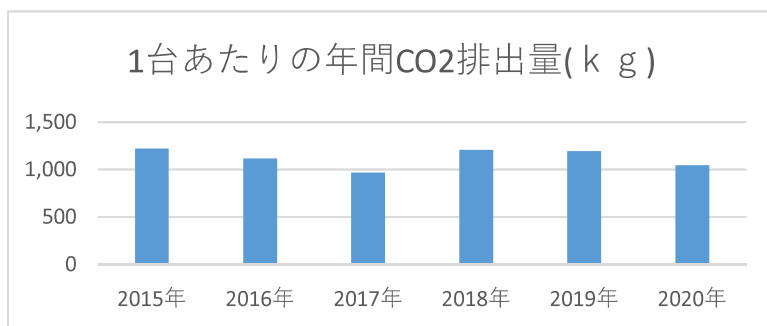
④環境に配慮した取組・活動 環境美化活動

目標： 地域清掃活動の実施/月1回

結果： **達成** 達成率： **100%**

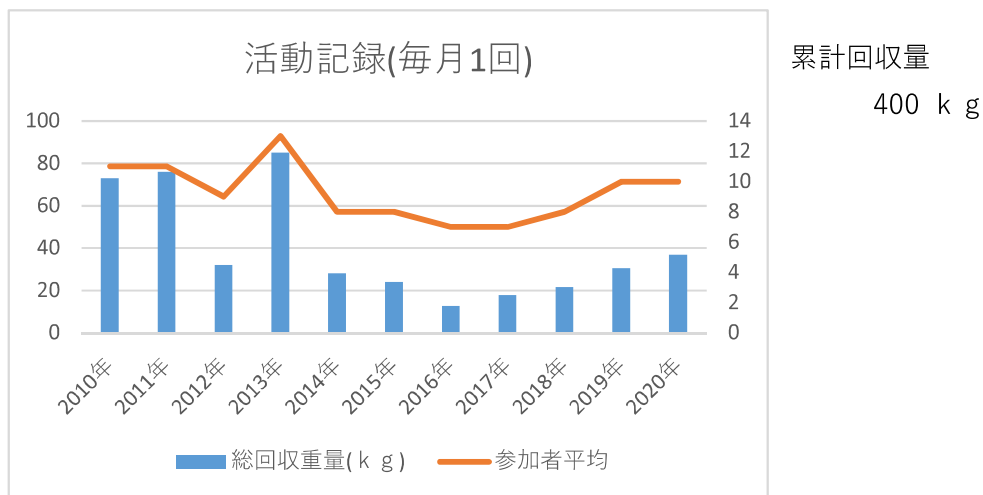
エコドライブの推奨

Fun to shareの取り組みに賛同し、マイカー、社用車のエコドライブを推進し、環境保護に取り組んでいます。



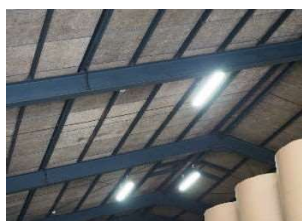
地域清掃活動

月に一度、会社の周りの清掃活動を行い、環境保護、資源リサイクル活動に協力しています。



倉庫照明設備のLED化

倉庫内の照明を水銀灯からLED照明へ切り替え、消費電力の削減と環境保護に努めています。



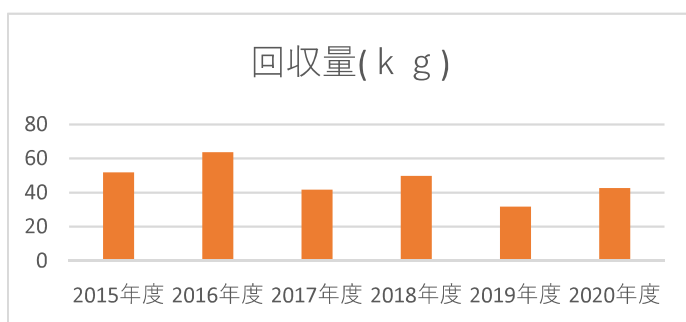
社会貢献活動



法的責任、経済的責任、倫理的責任を重視し、社会貢献活動に取り組んでまいります

ペットボトルキャップの回収

回収したキャップをリサイクル業者へ持ち込むとリサイクル代金がNPO団体へ寄付され、UNICEFと連携し支援を必要とする国や地域へワクチンが届けられる活動を継続しています。



累計回収量
281 kg

累計個数概算
120,847 個

社内・家庭におけるアルミ缶の回収、売却代金の寄付

回収したアルミ缶をリサイクル業者へ持ち込み売却し、資源のリサイクルにも貢献しています。売却代金は刈谷社会福祉協議会へ寄付しています。



累計回収量
1,683 kg

累計寄付金額
105,560 円

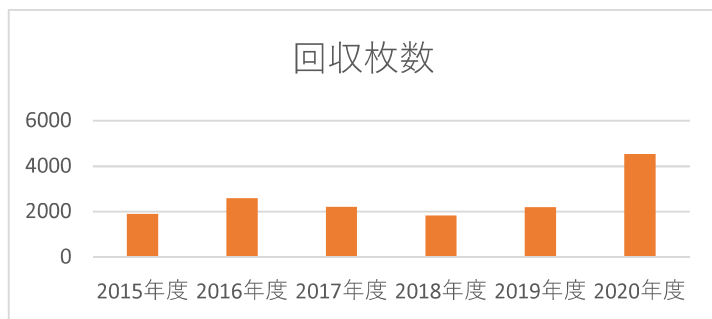
社内自動販売機売上の一部を寄付

自販機売上の一部がベンダーを通じて社会福祉協議会、交通遺児育英会、緑の募金へ寄付されています。

2020年総寄付金額 204,752 円

古切手の回収

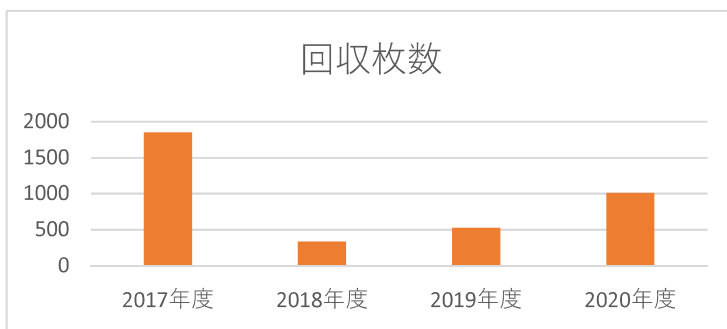
使用済古切手を回収、公益社団法人を通じて愛好家へ売却、支援を必要とする国や地域で役立てられています。



累計回収枚数
15,209 枚

ベルマークの回収

集めたベルマークをベルマーク教育助成財団へ送ると1点1円としてベルマーク預金となり、その預金から設備や教材を購入することが出来ます。購入代金の一部が寄付され、教育支援活動に使用されます。



累計回収枚数
3,721 枚

累計点数
3,607 点

献血の推奨

献血を推奨しており、献血を実施した際は会社に申告を行って頂いています。

2020年献血実施人数

13 人

BCP対策



事業継続活動体制維持に向け、自然災害を含むあらゆる脅威への対策に取り組んでまいります

災害時対応マニュアルの整備

BCPマニュアルを作成し、定期的な内容の見直しを行っています。

防災訓練の実施

毎年消防設備点検に合わせて火災・地震を想定した防災訓練を実施しています。
(2020年は新型コロナウイルス感染予防の観点より机上訓練実施)

建物・車両への緊急時用備蓄品の整備

帰宅困難者を想定し、本社、各事業部に備蓄品を設置しています。
長距離トラック乗務員が帰宅困難となった場合を想定し、長距離トラックには非常食、携帯トイレなどの備蓄品を設置しています。
備蓄品である缶パンは一定期間内に使用されなかった場合、購入元を通じて支援を必要とする地域へ寄付され、フードロス防止にも協力しています。

缶パン寄付 210 缶

太陽光発電、蓄電池の購入

本社及び倉庫屋根に太陽光発電パネルを設置、緊急時には非常用電源として活用されます。
また停電時への備えとして蓄電池を購入し、備えを進めています。

